

## 田中復興大臣記者会見録

(令和2年3月2日(月) 於)衆議院第二議員会館地下1階 食堂  
入口)

### 大島衆議院議長

丸9年目を迎え、いよいよ10年目に入る年になります。オリンピックが開催されますけれども、復興オリンピックと命名して、あの9年前の大災害を思い起こしますと、そこを目標にしてみんなで頑張りましょうということで今日までまいりました。

この被災地のそれぞれの県におかれては、政府の努力、あるいは地元、被災者の皆様方の歯を食いしばっての努力、また地方自治体の努力、何と言っても被災者の皆さんが忍耐をして、復興へ向けて心を一つにして今日まで来た、その姿が商品にもいろいろあらわれているとっております。今、ここに田中大臣、高木前大臣もおられますが、歴代の大臣の皆様方も何回もこの被災地に入り、心を共にして今日まで来られたその成果が見られると思えます。

今後はハードの面で復興の姿が明確にあらわれ、その成果が見られますけれども、今度はそこに住む人たちの心の問題もあるでありますし、あるいは教育、社会保障、その安心の問題もあるだろうと思えます。心して、まだまだ私ども政治の場において、バックアップして、共に大きな目標に向かって、一步一步進んでいかなければならないという思いを一つにしました。

とりわけ福島は、まだあの東京電力福島第一原発の処理を今、必死にやっていることを時々報告いただきますが、着実に着実に一步一步、私どもはこの事業を進めていかなければならない。国会としてもそういう立場で、ここにおられる大臣の後押しをするなり、また御意見を申し上げて、共々にそういう問題への解決もしていかなければならない。強い思いをいたしたところでございます。

以上でございます。

### 田中大臣

今日は大島議長、高木議運委員長を初め、御関係の皆様方の御配慮によりまして、衆議院第一議員会館、第二議員会館の食堂で、福島県、そして宮城県のいろいろと産物のマルシェを開催することができました。担当大臣としても、心から感謝、御礼を申し上げる次第でございます。

今、議長からもお話がありましたように、ちょうどもう9年を震災から迎えるわけでございます。地元の皆さんも必死の思いで、

あの悲しさ、苦しさを乗り越えて今日まで頑張ってきたわけ  
でございます。私どもも地元の自治体の皆さんと力を合わせなが  
ら努力させていただいてまいりました。

おかげをもちまして、地震・津波の地域のほうはハード面を中心  
に進んでまいりましたが、福島の方は議長からもお話があ  
りましたように、東京電力福島第一原子力発電所の被災地は、ま  
だまだ道半ば、復興はこれからという段階でございます。特にい  
ずれにしても被災地の復興は、生業（なりわい）ということが  
大切でありますし、新しくまた産業を興していかなければなり  
ません。避難をしていらっしゃる方たちに戻っていただくこと、  
また新しい住民の皆さんもお仕事の関係で引っ越してこれるよう  
な、そういうことも大切であります。

今、いろいろな取り組みを私たちがいたしておりますけれど、  
とにかくみんなで力を合わせながら、そしてこの現実を風化させ  
ることなく、東京オリンピック・パラリンピックも復興五輪とい  
う位置づけになっておりますし、聖火リレーも始まってまいりま  
す。私たちが心を一にして頑張ることをお誓いをしつつ、今日の  
マルシェに当たりましてのお礼を添えての一言、御挨拶とさせて  
いただきます。今日は本当に御関係の皆さん、ありがとうございます。

#### 高木衆議院議員運営委員長

こうして被災地の皆様方がいろいろと工夫をして頑張ってきた  
でいて、そういった物品、あるいは食堂では食材を使わせていた  
だいて、少しでも議長のもと、こうして私たち衆議院が被災地の  
皆様方を応援することができることを大変うれしく思っておりま  
す。もう9年がたつわけでありましてけれども、本当に御苦労が多  
いと思いますが、しっかりとこれからも復興に向けて、被災地の  
皆さんに頑張らせていただくことを、心からお願い、お祈りをさせ  
ていただきます。

以上でございます。

#### 田中大臣

風評被害のほうも今、一生懸命取り組んでやってまいりますので、  
また御支援をお願いいたします。

(以 上)